

# 猫の飼い方



## ◆ 飼う前に考えてほしいこと

猫は数千年前から人と共に暮らしてきました。  
初めは大切な穀物や書物をネズミから守る、  
優秀なハンターとして。

そして、現代では、人生を共に過ごす  
よきパートナーとして・・・。

ひだまりでのんびりと昼寝をしている猫は  
私たちを穏やかな気持ちにさせてくれます。

しかし、猫を飼うということは、「ひだまりの猫」との  
付き合いばかりではすまないことも・・・。

猫を飼う場合、近所で生まれた子猫をもらったり、保護したりして飼い始める方が多いようです。自分や周囲の状況をよく考えずに飼い始めると、後で取返しのつかない問題を抱えてしまうことにもなりかねません。飼い始める前に、家族でよく話し合ってください。

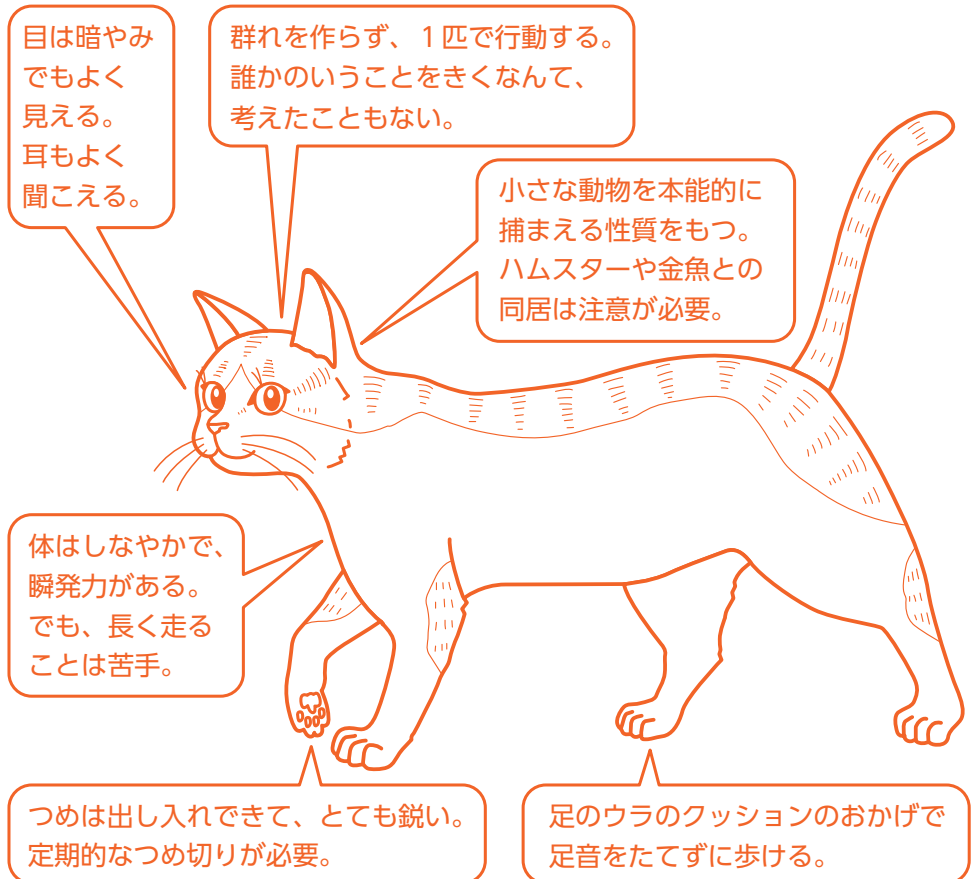
- ① 猫は 15 年以上生きてくれます。20 歳を超える猫も多くみられます。その間、変わらぬ愛情と責任を持って、きちんと飼いつけることができますか。
- ② あなたのお住まいは猫を飼うことが禁止されていませんか。周囲の環境はどうですか。猫は室内で飼うのが基本です。
- ③ 餌代だけでなく、飼うために必要な用具、病気の予防や治療、不妊去勢手術などの費用を負担できますか。
- ④ 万一、猫が外に出てしまい、近所に迷惑をかけたときなど、責任を取る覚悟がありますか。
- ⑤ 家族の中に一人でも飼うことに反対している人はいませんか。猫に対してのアレルギーのある人はいませんか。
- ⑥ 転居など、将来のことまで考えていますか。猫をその生涯にわたって飼いつけられますか。
- ⑦ 子供にせがまれていませんか。猫の世話は子供だけではできません。
- ⑧ 飼い主自身の病気や入院など、万一飼えなくなったときのことを考えていますか。



# ◆まず、猫の特徴を知りましょう

責任を持って動物を飼うには、まずその動物の習性や体の特徴を知ることが大切です。猫には次のような習性があります。

- ① 猫は、自然界では1匹で行動する、完全肉食のハンターです。
- ② 犬と違って群れの本能や服従心は低く、飼い主とは「付かず離れず」の距離感を好みます。そのため、必要以上の人とのふれあいを避けることも多い動物です。
- ③ 1匹で行動することから、用心深く、音、臭いなどの環境の変化に敏感です。
- ④ 元々の狩りの本能を発揮して、ネズミや小鳥、金魚などの小動物にも興味を示します。



## ◆室内飼いをしましょう

屋外は、猫にとって危険がいっぱいです。交通事故で死んでしまった猫を見たことがある人も多いと思います。他にもウイルス・細菌・寄生虫などの感染症の危険もあります。

猫は自由に生きるものであり、屋外で放し飼いをするのが本来の飼い方だと考えている人もいます。しかし、屋外にひそむ危険を猫に教育することはできません。猫を危険から守るのも飼い主の責任です。

猫は自分のなわばりの中で生活する習性を持っています。なわばりの外に出るのは、餌が不足したときと異性を探しに行くときといわれています。

猫は犬ほどのたくさんの運動が必要な生き物ではありません。

十分な餌と上下運動ができる場所、不妊去勢手術の実施、そして飼い主の愛情があれば、室内でもストレスをためずに健康に飼うことが可能です。

室内で飼うことにより、ふん尿などでご近所に迷惑をかけることもありません。

災害に備えて、家具の転倒防止や窓ガラスの飛散防止等、室内の安全確保を実施しておけば、人だけでなく猫を守ることにもつながります。

### 室内飼いのポイント

- ◎ 上下運動ができる場所
- ◎ いつもきれいなトイレ
- ◎ 新鮮な水と餌
- ◎ 不妊去勢手術
- ◎ 楽しいおもちゃ
- ◎ 飼い主の愛情とスキンシップ

